

あなたの宝物、
ちゃんと見つけましたよ。

モスクワ国際映画祭 2017
ロシア連邦文化省より
「特別賞」「優秀演技賞」受賞
ソチ国際映画祭 2016
「特別賞」「主演女優賞」受賞

松原智恵子
芸歴55周年記念
主演作

松原智恵子

津川雅彦

ゆずの葉ゆれて

山時聡真(子役) 西村和彦 小林綾子 芳本美代子 真由子 辻本祐樹
平岡真衣 木村隆信 前田健晴 中村美沙

主題歌:元ちとせ「君の名前を呼ぶ」(オーガスタレコード/アリオラジャパン)

監督・脚本:神園浩司 原作:佐々木ひとみ 総合プロデューサー:三角清子 コーディネートプロデューサー:吉永一己 スーパーバイザー:浜岡勤
アソシエイトプロデューサー:桑山和之 音楽:佐藤洋介 撮影:岡 雅一 キービジュアル撮影:伊藤雅之 衣装協力:銀座もとじ
協賛:ANA JX喜入石油基地 よしどめ歯科 富士フィルム 鹿児島銀行 オーケー印刷社
日本タバコ産業 ポプラ社 一般社団法人 鹿児島県建設業協会 公益財団法人 建設業福祉共済団 薩摩酒造
製作協力:映画「ゆずの葉ゆれて」を支援する喜入地域の会 NPOかごしまフィルムオフィス 協力:薩露交流促進協議会
製作:グループ風土含みすみぶろ 鹿児島文化企画 配給:エレファントハウス
yuzunohayurete.com

鹿児島市 椋鳩十児童文学賞 受賞作品「ぼくとあいつのラストラン」(佐々木ひとみ/ポプラ社刊)



松原智恵子 芸歴55周年記念主演作は、 鹿児島を舞台に夫婦の絆と別れをさわやかに描く。



16歳で芸能界入りを果たし、120本以上の映画と数多くのドラマに出演してきた、松原智恵子。今年で芸歴55周年を迎える彼女の記念すべき主演映画が『ゆずの葉ゆれて』である。松原が演じるのは、海と山に囲まれた小さな町で、畑仕事をしながら病床の夫を支える妻。夫役でW主演となる津川雅彦を相手に、半世紀以上連れ添ってきた夫婦の絆と別れを、デビュー以来変わらぬ可憐さと滋味あふれる演技で披露している。

佐々木ひとみの椋鳩十児童文学賞受賞作『ほくとあいつのラストラン』(ポプラ社刊)を、脚本も手掛ける神園浩司監督が夫婦の愛の物語として再構築し、より重層的な人間ドラマへ昇華させている。鹿児島県の奄美大島出身の元ちとせがこの映画のために提供するオリジナル主題歌『君の名前を呼ぶ』も話題の一つである。

高齢化社会と少子化が進む日本では、いま老老介護が深刻な問題となっている。「老い」と「死」を前に、人はどう「生」と向き合えばいいのか。本作は、夫婦と隣家の少年とのふれあいを通して、いつの時代も変わることのない「人と人との絆」、本当の幸せとは何かを、さわやかな語り口で問いかけている。



激動の昭和を生きた夫婦と少年の想いが交錯し、 思わぬ奇跡が起こる。

鹿児島島の自然に包まれた小さな町。小学四年生の風間武(山時聡真)は、家族同様に接してくれる隣家のバアちゃん(松原智恵子)から、寝たきりになっているジイちゃん(津川雅彦)を元気付けてほしいと頼まれる。しかし、ジイちゃんはその夜に息を引き取った。葬儀の準備がすすむ中、帰郷した娘たちは苦労ばかりしてきたバアちゃんに同情するが、彼女は「わたしは苦労なんかちっともしてない」と、ジイちゃんが秘めていた家族への想いを語りはじめた。一方、ジイちゃんの死を哀しむ武は、不思議な少年ヒサオと出会い、ある宝物を探すこととなる。激動の昭和を生きた夫婦と少年の想いが交錯し、思わぬ奇跡が起こる…。



〈風間 武〉
山時聡真



〈武の父〉
西村和彦



〈武の母〉
小林綾子



〈武の姉〉
平岡真衣



〈鈴田夫婦の長女〉
芳本美代子



〈鈴田夫婦の次女〉
真由子



〈ジイちゃんの若い頃〉
辻本祐樹



〈バアちゃんの若い頃〉
中村美沙

私たちは『ゆずの葉ゆれて』を応援しています。

鹿児島県知事：伊藤祐一郎、鹿児島市長：森博幸、鹿児島県教育委員会教育長：古川仲二、鹿児島県立図書館館長：原口泉、欣交会会長：関西鹿児島県人会総連合会会長：稲盛和夫、公益社団法人 三州倶楽部会長：本田勝彦、NPO法人 渋谷・鹿児島文化等交流促進協議会理事長：平原一雄、関東鹿児島県人会連合会会長：尾郷良幸、東海錦江クラブ会長：今村孝治、福岡南州会会長：宮田可成、鹿児島県商工会議所連合会会長・全国鹿児島県人会会長：岩崎芳太郎、鹿児島県中小企業団体中央会会長：小正芳史、鹿児島県商工会連合会会長：森義久、鹿児島県経営者協会会長：本坊修、鹿児島県経済同友会代表幹事：玉川文生、鹿児島県経済同友会代表幹事：上村基宏、鹿児島県観光連盟会長：池畑憲一



『ゆずの葉ゆれて』2016年/日本/94分/ウイスタ/カラー/5.1ch

配給：エレファントハウス ©2016グループ風土舎みすみぶろ yuzunohayurete.com

と き：平成30年6月16日(土) 午後7時～
場 所：種子島こり～な
入場料：種子島こり～なシネマクラブ加入による

年間会員一般5,000円 高校生以下3,000円
(年6回～8回上映予定)
1回視聴会員一般1,000円 高校生以下700円
未就学児は無料
詳しくは種子島こり～な 電話27-3711まで
お問い合わせください。